



アメリカ

### 2008年型車の燃費効率を公表

アメリカ環境保護庁（EPA）と連邦エネルギー省は10月12日、2008年型車についての「燃費効率ガイド」を公表しました。燃料効率が最も良かったのはトヨタのプリウスで、市街地で48mpg（1ガロン当たりの走行マイル）、高速道路で45mpgでした。データからはハイブリッド自動車引き続き、燃費の改善に貢献していることが明らかになりました。今回のガイドでは、スポーツ多目的車などさまざまな自動車にハイブリッドモデルが登場し、消費者の選択の幅が広がりがつつあるのがよく分かります。

イギリス

### ファッション・アパレル業界も持続可能性を追求

イギリスで、ファッション・アパレル・繊維産業及び環境団体等の代表者が一同に会する初めての会合が、9月5日に開催されました。会合の冒頭、ラドック大臣（気候変動・生物多様性・廃棄物担当）は、衣料品が環境にもたらす影響について消費者が真剣に考えるようになってきていること、また、ファッションジャーナリストも環境問題に熱心になってきていることを指摘。ファッション業界でも、持続可能性を、制約ではなくビジネスチャンスと捉えている人が多くいると述べました。こうした状況を踏まえて、イギリス環境・食糧・農村地域省では、ファッション・アパレル業界と協力して、衣料品の持続可能性の改善に取り組んでいくことを考えていることを明らかにしました。

ニュージーランド

### 2008年世界環境デーのメイン会場に

2008年世界環境デーのホスト国が、世界で最初にカーボン・ニュートラルとなることを約束した国の一つ、ニュージーランドになることが10月1日に発表されました。

2008年世界環境デーは「悪い習慣を止めよう」をテーマに、経済やライフスタイルの脱炭素化を目指します。また、温室効果ガスの増加を打ち消す森林の役割にも焦点が当てられます。気候変動につながる排出のうち、約20%は森林破壊によるものだと推測されているからです。

ニュージーランドのクラーク首相は、「気候変動問題を克服するためには、炭素を排出する悪い習慣を止めることが、地球規模の目的にならなければならない。来年の世界環境デーのイベントを通じて、他の国々がこの問題にどう取り組んでいるのかを学ぶことを楽しみにしている」とコメントしました。

UNEP

### 地球クリーンアップ・ウィークエンドでグーグルと協力

UNEPとグーグルの協力により、世界各地で清掃活動を行い、その成果をインターネットを通じて広める新しいキャンペーンがスタートしました。

10月13日・14日の地球クリーンアップ・ウィークエンドの期間中、地域の団体や個人により、公園や海岸、道路沿いなどの清掃活動が行われました。そして各地の活動状況や成果に関する写真、ビデオがグーグルマップに掲載されました。UNEPのシュタイナー事務局長は、「地域コミュニティの活動の力が、世界的なウェブの力によって集結する」と述べ、この取り組みを歓迎しました。

欧州委員会

### 2007年のテーマは「道は人のために」

今年で6回目となる欧州モビリティ・ウィークが、9月16日から22日まで開催されました。2007年のテーマは「道は人のために」。地方自治体において、徒歩・自転車・公共交通機関・カーシェアリングのような、汚染の少ない交通手段に道を譲ることを呼びかけました。

EUの温室効果ガス排出量の10%は自動車に起因するものです。また大気汚染物質は、人間の健康及び環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。モビリティ・ウィークは、人々により持続可能な選択肢を選ぶよう働きかけるものです。

参加都市は、自転車専用道路や、公共交通サービスのような恒久的な措置を1つ以上導入しなければなりません。今回は、欧州内外から1324都市が参加。特に中国が初めて国家規模の公共交通機関週間を設け、108の都市が参加しました。

編集協力：財団法人環境情報普及センター（EIC）  
各ニュースの詳細は、「EICネット」の「海外ニュース」のホームページをご覧ください。アドレスは、<http://www.eic.or.jp>です。